

市民と議会を結ぶ架け橋

議会 上野原市 だより


No.50
平成29年
8月発行

6月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
消防団員の皆さん

特集	2
定例会で決まった主なこと	4
議決結果等一覧表	6
一般質問	7
委員会活動	11
市議会のあゆみ	14
市民の声 他	16



うえのはらで頑張る人 vol. 3



生命と財産を守るために 日々奮闘している 消防団の方々に伺いました

消防団は、仕事を持つかわら、消防・防災・防犯リーダーとして、昼夜を問わず地域に貢献し、市民の生命・財産を守るという崇高で重要な役割を担っています。地域を守る消防団員が減少する中で、上野原分団では2名の女性団員が活躍しています。日々奮闘している消防団の方々に話を伺いました。

今、この時でしか経験できない活動

自分たちのまちは、自分たちで守る

消防団の具体的な活動を教えてください。



- 毎月2〜3回の水利、自動車、機械器具点検を行っています。
- 消防救急隊員による救急法訓練で、AED※の使用法訓練を行っています。
- 2年に1度の総合訓練で、分団のポンプ9台を連結させて火災を想定した消火訓練を行っています。
- 祭典等イベント時の運行警備も大事な活動として毎年実施しています。
- 毎年、学校のプール清掃をPTAと連携して消火訓練を兼ねて行っています。
- 総合訓練を実施し、人員報告や停止間動作などの訓練を行っています。

団員になって良かったことや、やりがいは？

■ 日頃の訓練の賜として、火災発生時にしっかり対応でき、最小限の被害でくい止められ、非常に感謝されたことですかね。

※AEDとは…自動体外式除細動器

音楽隊



- 毎週木曜日に市役所多目的ホールで午後8時から10時まで練習をしています。(女性団員1名)
- 消防団出初式に向けての練習が主ですが、商工祭や西原ふる里祭りにも毎年参加しています。



■祭典の運営に対する後援活動は消防団無くしては成り立ちません。使命感を持って取り組んでいます。

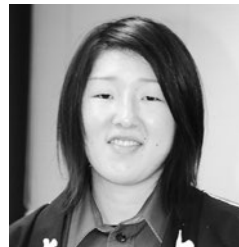
■地域の防災に対して、常に前向きになれる、自分が成長できることです。

■家族が活動の使命を理解して、応援してくれることですね。

■火災警報器設置について、各家庭に協力を

呼びかけた結果、県内消防本部管内で設置率トップの94%となり、初期の火災消火の大きな力となったことですね。

女性団員に伺います。入団して困っていることや感じていることなどありますか。



■特に困ったことはありません。

■普段経験できないことが経験できました。消防団には様々な人と

つながりがあるのでよかったですね。と思います。

■女性団員や学生団員が増えてほしいです。

悩みや課題はありますか。



■やはり若い団員不足ですね。女性や学生の参加が全国的に広がっています。広報活動や後方支援等、出来るこ

とから理解を深めてもらえれば。

■消防団一日体験等の企画も必要だと思います。

市議会や行政に対しての要望は。



■団員確保のためにも、若者世代の働く場所の確保や市内への移住・定住の促進をより進めて欲しい。

■他市町村でも導入している、商工会等と連携した団員の優待サービスも実現して欲しいですね。

■消防ポンプ車の免許取得等の補助制度の導入を一定の要件をつけても考えて欲しいですね。

取材を終えて

このページにはまだまだ載せられないほどの現状や、将来に向けての建設的なご意見・ご要望について、団長をはじめ、多くの団員の方々からいただきました。議会としても、消防団活動全般に協力できることを行っていきたいと思えます。



6月定例会で決まった主なこと

平成29年第2回定例会は、6月8日(木)から6月22日(木)までの15日間の会期で開催されました。

審議された議案

市長提出議案	41件
議員提出議案	1件
選挙	1件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

議案第66号 上野原市都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について

条例改正

都市計画審議会で、**景観計画に関する審議ができるようになります。**

現在、市で策定作業を行っている景観計画は、都市計画による建築物の形態・意匠・色彩など多くのことが密接に関係しています。

今後は、都市計画審議会において景観計画に関する審議を行えるよう、条例の一部が改正されました。

(施行日6月28日)



議案第67号 平成29年度上野原市一般会計補正予算(第2号)

補正予算

補正総額、歳入歳出ともに

3億4029万7千円

※主なものは次のとおりです。

歳入

国庫支出金	2451万3千円
県支出金	906万4千円
財政調整基金繰入金	1億3202万円
辺地対策事業債	1億1640万円
緊急防災・減災事業債	4710万円
一般公共事業等債	950万円
合併特例事業債	170万円

歳出

(主なもの)

辺地対策事業費【市道と見線など工事請負費】	1億700万円
道路維持費	2475万7千円
橋りょう長寿命化修繕事業費	2083万円

救急車購入費	3315万5千円
小型動力ポンプ付積載車購入費	1928万8千円

秋山公民館解体工事費

2160万5千円

塵芥処理費【現焼却炉のメンテナンス時に塵芥の処理(500ト分)を委託する費用】

2630万9千円

塵芥処理委託予定先



オリックス資源循環(株)



人事

各種委員の任命・選任等

〔順不同〕

農業委員会委員

任期満了(29年7月19日)に伴い、その後任に市長から任命された14名に同意しました。

- 岡部公史氏(大目地区)
- 網野和夫氏(甲東地区)
- 杉本民雄氏(大鶴地区)
- 古家勝夫氏(巖地区)
- 小俣幸三氏(島田地区)
- 佐藤邦彦氏(秋山地区)
- 佐藤均氏(秋山地区)
- 清水範男氏(上野原地区)
- 石井瑛子氏(上野原地区)
- 清水藤夫氏(上野原地区)
- 高橋正氏(上野原地区)
- 尾形吉彦氏(上野原地区)
- 高橋純一氏(桐原地区)
- 富澤太郎氏(西原地区)

監査委員

任期満了(29年6月18日)に伴い、その後任に選任された1名に同意しました。

人権擁護委員候補者

任期満了(29年9月30日)に伴い、その後任に推薦された2名を適任としました。

- 岡本和洋氏(巖地区)
- 安藤成子氏(島田地区)

小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員

任期満了(29年6月17日)に伴い、その後任に推薦された4名について選挙を行いました。

- 武原久二氏 岡部秋男氏
 - 長田繁幸氏 長田義廣氏
- (西原地区)

特別委員

市議会のあり方や活性化等の方策などを調査・検討します。

発議第1号 議会活性化検討特別委員会の設置について

議会活性化検討特別委員会を設置

市議会の組織のあり方や、議会運営の活性化・効率化及び議会活動の透明性向上の方策等を調査・検討するため、議会活性化検討特別委員会を設置しました。



全議員の合意で、議会運営

委員会委員長が提出者、総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会の各委員長が賛成者となっております。

- 委員長 鷹取 偉一
- 副委員長 杉本 友栄
- 委員 白鳥 純雄
- 遠藤美智子
- 川田 好博
- 久嶋 成美
- 東山 洋昭
- 小俣 修
- 川島 秀夫
- 杉本 公文
- 田中 英明
- 山口 好昭
- 長田喜巳夫
- 尾形 幸召
- 岡部 幸喜
- 尾形 重寅

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

平成29年第2回定例会議決結果等一覧表

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果
発議1号		議会活性化検討特別委員会の設置について	原案可決	70	文教厚生	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
54		専決処分の承認を求めることについて (職員給与と条例の一部を改正する条例制定について)	承認	71		平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	受理
55		専決処分の承認を求めることについて (市税条例の一部を改正する条例制定について)		72		平成28年度継続費繰越計算書の報告について	
56		専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)		73	—	平成28年度繰越明許費繰越計算書の報告について	
57		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度一般会計補正予算(第4号))		74		平成28年度事故繰越し繰越計算書の報告について	受理
58		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号))		75	総務産業	上野原駅南口昇降施設棟外建設工事(継続費) 請負変更契約締結について	原案可決
59		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))		76	文教厚生	損害賠償の額を定めることについて	同意
60		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号))		77		農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることの同意について	
61		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度大目財産区特別会計補正予算(第4号))		78		農業委員会委員の任命の同意について	
62		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度甲東財産区特別会計補正予算(第2号))		79		農業委員会委員の任命の同意について	
63		専決処分の承認を求めることについて (平成28年度蔵財産区特別会計補正予算(第3号))		80		農業委員会委員の任命の同意について	
64		専決処分の承認を求めることについて (平成29年度一般会計補正予算(第1号))		81		農業委員会委員の任命の同意について	
65	総務産業	市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例制定について		82		農業委員会委員の任命の同意について	
66		都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について		83		農業委員会委員の任命の同意について	
67	総務産業・文教厚生	平成29年度一般会計補正予算(第2号)		84		農業委員会委員の任命の同意について	
68	文教厚生	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	85		農業委員会委員の任命の同意について		
69		平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	86		農業委員会委員の任命の同意について		
			87		農業委員会委員の任命の同意について		
			88		農業委員会委員の任命の同意について		
			89		農業委員会委員の任命の同意について		
			90		農業委員会委員の任命の同意について		
			91		農業委員会委員の任命の同意について		
			92		監査委員の選任の同意について		
			93		人権擁護委員候補者の推薦について	適任	
			94		人権擁護委員候補者の推薦について	当選	
			選挙6号		小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について		

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

訂正とお詫び

第49号議会だより12頁『総務産業常任委員会』の記事中、「主な質疑」の議案番号及び議案名に誤りがありました。正しくは、次のとおりです。訂正して、お詫びいたします。

【誤】議案第7号 上野原市税条例の一部を改正する条例制定について

【正】議案第2号 上野原市まちづくり基本条例制定について

観光資源になり得るものの
活用法について



東山洋昭

質問

過去から現在まで地域社会に根づき、そのつながりを職業や場所という部分やその家の由来まで色濃く残す「屋号」が市には数多く残っています。歴史、文化、風俗を伝えていく考え方で「屋号」にスポットライトを当て、昔の様子などを交えて説明していければ、また埋もれつつある地域の宝の整備は、今ならまだ間に合うと思います。地域を愛し、地域振興への思いのある方々と一緒になって築いて行く。そこで、QRコード等を利用した「屋号」の説明板を市内のモデル地域を選定した上で、市の魅力を市内外に発信できたらと考えるが。

答弁

QRコード等を活用した「屋号」の説明板については、観光資源の情報発信に結びつけて行くという観点から、観光協会や観光ボラ

意見

ンティアガイドの皆さんに協力していただき、その調査・研究などを事前に行うことは可能と考えます。この取組みにより、地域の活性化や市の特徴を生かした、観光アプローチの手段となるものと思っています。埋もれつつある、また埋もれてしまった観光資源に光を当てる為にも、大学等と連携し、積極的に協力して貰うことも非常に重要です。

他にごみ減量化の取り組み等や、市民活動支援事業について質問しました。



「発見うえのはら」QRコード

人々が集う魅力あるまちづくり
について



山口好昭

質問

情報伝達施策・老朽化した行政防災無線を新たに導入したが次の4項目を伺う。防災無線導入の経緯と総事業費・国等の補助及び市の負担額・工事の進捗状況完了時期・新防災無線によってどのように変わり効果があるか。

答弁

防災行政無線による災害時の市民への情報伝達は、防災減災に大変重要となります。今回の行政防災無線デジタル化整備事業は、電波法の改正により現在のアナログ電波が平成34年12月1日から使用不可となると共に既存の設備の老朽化を踏まえて、平成28年から既存のアナログ設備をデジタル化設備に更新する工事を実施するものです。

事業費は、工事請負費が4億5301万8960円、管理業務の委託費が1101万6000円となっております。



り、財源は緊急防災・減災事業債を活用しています。事業債は、事業費に対しまして100%の充当が可能であり、その70%が交付税措置されますので市の負担額は約1億4000万円になります。工期につきましては、事業費を本年度に繰り越し、平成29年12月28日まで工期を延長しています。この事業による効果としては、老朽化して多発していた不具合の改善が最大の効果ですがデジタル化することで双方向通信、データ通信、他システムとの連動等が可能となります。

都市計画マスタープランについて
人口減少・少子化対策について



白鳥純雄

質問 平成26年10月の都市計画マスタープランでは、シビックゾーンの道路整備計画が

具体的に明記されていないが、その状況は。

答弁 過去の道路計画にとらわれず、実情に合わせた道路

市民の皆様の利便性や効率性を重視したアクセスの良い計画道路の見直しを検討していきます。

質問 子育て世代への経済的負担の軽減に、どのような取り組み事例があるか。

答弁 これまで国及び県事業はもとより、市単独事業も推進

しており、平成28年度は、「出産奨励祝金事業」では、第1子に5万円、第2子に10万円、第3子に50万円を支給、1570万5000円の市費を投入しました。中学3年生までの「子ども医療費無料化事業」では、約5123万円の市費を支出しました。「第3子以降の保



育料無料化事業」では約960万円、対象者29名に市費を投入しました。「不妊治療助成事業」では50万円助成しました。また「私立幼稚園就園奨励費補助制度」では通園経費に対し145名の園児に約1480万円の補助を行いました。また第3子以降の園児に対して、授業料の援助を行い該当の15名に対し約300万円の補助を行いました。

要望 給食費の負担軽減をお願いしたい。

他に若者定住対策、鳥獣害対策等の具体的な取り組みについての質問をしました。

地域おこし協力隊について



長田喜巳夫

質問 地域おこし協力隊の任務と目的は。

答弁 人口減少や高齢化の進行が著しい地方において、地域への協力活動を行うことを任務とします。地域協力活動に従事し、定住・定着を図ることで地域資源の発掘や農業への支援等を行い、地域の維持、強化を図ることを目的としています。

質問 全国と県内の状況は。

答弁 全国と県内の状況は、隊員の活動内容や活動方法は全国多岐に広がっています。28年度の全国の隊員数は3978名で山梨県は84名です。

意見 全国で一番多く採用しているのは、大分県竹田市の44名です。10名以上は72の自治体で、15名以上は26、20名以上は11、30名以上は4自治体で採用しています。

県内の状況は、北杜市が18名、小菅村、丹波山村が9名、都留市が8名等です。



本市においても積極的な採用を求めます。

質問 地域協力活動とは。

地域力維持や強化に資する活動として、地域行事やイベントの支援、伝統芸能や祭り復活、地域ブランドや地場産品の開発、移住者受け入れ等多岐にわたります。

意見 地域とNPOの協力により地域づくり構想を明らかにしている地域があります。実現に向けては、地域資源の活用に伴う特産品の開発や体験型観光メニューなど都市との交流事業を実践していく人材が求められます。積極的な募集により地域づくりを進めることです。

ごみ減量化対策について



杉本公文

質問

ごみの減量化は市長も重要事項と位置付けし、ごみ減量化についての協議会を設置して削減に取り組むとのことですが、この協議会では、家庭ごみの有料化を前提に設置するのか。また、基本計画にある推進委員は、設置されるのかを伺う。

答弁

家庭から出るごみの減量のため、すでに県内の多くの自治体が行っています。当市は分別が非常に少ない。やっぱり7つから8つからの分別をしないとリサイクル率も上がらない事からそういうものを含め、協議会で厳しいスタンスで早急に作り上げたいと考えます。

答弁

家庭ごみの有料化も減量化策の一つであり、過去においても検討された経緯があります。新たな協議会におきまして、施設の老朽化等の諸問題とともに、推進員も含めて検討をしてみたいと考えています。

質問

ごみの有料化を実施した他市の実績を見れば、およそ20%の減量化が成されているが、一方ではごみの分別化によって減量することも明らかで、笛吹市では7項目の分別を実施し、30%の減量を実現している。当市では、燃えるごみ・ビ

地域の防災力の強化について



遠藤美智子

質問

自主防災会の役割と実態は、地域の住民同士が日頃から防災について話し合い自主的な組織が自主防災会です。活動は区により、ばらつきがあります。今年度は区の実情把握をして防災計画づくりに必要な支援を実施していきます。

答弁

質問

リーダーが自主防災会で活躍している。当市においても是非、積極的に実施してほしい。

質問

市長は、今議会の所信表明で「市民の安心安全のためにも、今年は自主防災会を充実させていく」と話した。自主防災会を強化するうえで、防災指導員の育成とともに今後、市独自で防災リーダーを育成すべき、それが地域の防災力の強化につながると思うが。

答弁

平成25年度作成のマニュアルを見直し作業を行っています。今後は住民が自主的に活動できるようマニュアルを作成し、今年度中に避難所ごとの特性に対応したものにしていこうと予定しています。

答弁

災害時の防災リーダーの存在は大変重要です。今後、様々な方法で防災リーダーの育成に努めていきます。県内の各市町村では、独自で防災リーダーの養成講座を実施して、受講した防災

要望



市教育振興基本計画・地域福祉計画について



久嶋成美

質問 教育振興基本計画に基づく

スポーツ活動の振興と現在特に取り組んでいる活動について伺う。

答弁 多くの市民がスポーツを楽しみ健康で活力ある生活を送ることができるよう生涯スポーツを振興する取り組みを進めています。主な取り組みとして、ニユースポーツや競技スポーツの普及推進、プロスポーツに接する機会等の推進です。

質問 スポーツ環境・施設の整備

についてはどうか。

答弁 市内に数ある施設の中で、費用対効果も含め計画的な改修、整備を行い利用者に喜んで使用していただけるよう施設維持に努めています。

質問 数ある施設の中でテニスコ

ート改修の要望が強いが対策は。

答弁 市の体育協会やスポーツ推進審議会等の意見も踏まえ



て前向きに考えていきます。

質問 地域福祉計画の中で、高齢

者に対し様々な取り組みを行っているようですが、地域間の見守りに対する課題は何か。

答弁 個人情報提供や市外、県外になると連携が図れないことです。

質問 新しい取り組みとして、み

まもりあいプロジェクトを提案します。市外、県外でも連携できるアプリを使い、個人情報も保護できるが、どう考えるか。

答弁 前向きに検討したいと思えます。

学童保育の運営の改善を



川田好博

質問 上野原小、西小の学童保育

は、定員がいっぱいあるいはオーバーしている状態です。定員増の対策についての考えを伺う。

答弁 今後の増加推移を見据え、

教育委員会や学校等と余裕教室の協議や、その他設置可能場所などの調査等を始めています。

質問 学童保育所の常勤の賃金は

月額135000円、パート職員の時給840円から1000円となっています。厚生労働省の賃金構造基本統計調査によると、保育士の時給は1575円です。学童保育についても同様であることから、賃金の引き上げが必要ではないか。

答弁 契約を結ぶときに運営する

上野原学園と相談し、検討していきます。

質問 学童保育事業がその目的を

達成するためには、職員の相互理解などが必要です。

答弁 職員会議等で職員間の共通認識が深まれば、よりよい学童保育の運営が図られると思います。現状を踏まえて、検討していきたいと考えています。

質問 保護者が休みの場合、柔軟

な対応が必要ではないか。条例では就労が条件となっています。保護者がお休みで在宅の場合には、お子さんとの貴重な時間を一緒に過ごしていただきたいと考えています。



閉会中の調査

総務産業常任委員会

委員長 明一 雄夫 文栄 喜重
委員 中長 純秀 公友 幸重
副委員長 鷹取 白鳥 杉本 部重
委員 尾形

千足地区生活道路の現状を調査しました

第一回定例会で請願の出された千足地区の道路等を調査するため、5月9日、川合地区と千足地区、富士東部林道北線に向き視察調査を行いました。

千足地区の生活道路は、市道千足四方津線が地区内を通り、重量制限により、救急車や消防車も通行できない千足橋を経由して久保地区へ繋がるものです。

最初に、千足地区から要望のあつ



た川合側の接続箇所を調査しました。要望箇所には立ち入る事が出来ませんでした。地図等によりルートを確認しました。

次に、千足区長をはじめ住民の方にも立ち会っていただき、道路の概要説明を受け現地確認をしました。急勾配の坂道を上っていくルートで、緩やかに上れるルートを新たに整備していく必要がある状況でした。

引き続き、千足終点の林道から富士東部林道北線への接続が可能か千足側と秋山側からそれぞれアクセスできる点を調べましたが、急峻な地形で厳しい印象を受けました。

委員会では、安全面からのルート再検討や費用面でも負担が非常に大きくなることから、国や県などの補助が活用出来る事業を検討するなど、災害時の孤立化対策に努めることを要望しました。

閉会中の調査

文教厚生常任委員会

委員長 夫修 智子
委員 喜長 美博 昭昭
副委員長 保 藤好成 洋好
委員 小員 遠川久東山
委員 尾形

学童保育所の運営の状況を調査しました

5月15日、市内の学童保育所（上野原小3か所、島田小1か所）の視察調査を行いました。

当市の学童保育所事業は、現在上野原小に3か所、島田小に1か所、上野原西小に2か所、秋山YLO会館に1か所、計7か所に設置され、学校法人に委託し運営が行われています。児童数は、上野原小と上野原西小の5か所は満員ですが、島田小と秋山YLO会館においては定員に

達しない状況でした。

指導員は29名が勤務し、平日は下校時から午後6時まで、土曜日、夏・冬・春休みは午前8時から午後6時まで、延長は午後6時半まで運営し、年間273日開所している学童保育所もあるとのことでした。

委員からは「保護者が在宅時も事情を把握し預けられる対応が必要」「常勤の指導員が少なく、子どもたちの安心安全を守るため常勤者を確保すべき」との要望が出されました。

視察では、子どもたちが宿題をしたり遊ぶ様子を拝見でき、委託先の理事長や指導員からも、子どもや施設の状況を聞くことができました。

今後は少子化で子どもは減少しますが、入所希望者は増えると予測されます。学校の空き教室を利用した運営や指導員の確保など、適切な遊びや生活ができるような環境の整備に向け、学校や教育委員会と協議のうえ対応するよう要望しました。



高規格救急車の購入は 緊急防災・減災事業債を活用

6月12日、総務産業常任委員会を開催し、付託された4議案の審査と所管事務調査を行いました。

主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。

pick up!

議案第67号 平成29年度上野原市一般会計補正予算(第2号)

主な質疑・答弁

Q 西原の農村活性化施設維持費において生産物の品質改善及び販路拡大を図るための産業奨励助成金を182万4000円増額補正とあるが、産業奨励助成金の内容は。

A 農村活性化施設は、指定管理者制度でNPO法人さいはらに委託し、補助事業を活用し

て備品のリース契約をしていました。補助事業が終了し、リース料の残額を一括して助成金として支払うものでしたが、助成金では市の備品にならないことから、産業奨励規則の特別条件により市とNPO法人が特別条件を結んで助成を行います。

11万キロの更新基準がありません。今回の車両は15年が経過していることから、緊急防災・減災事業債を活用して更新します。

4議案の審査結果

Q 消防費では、高規格救急車両の購入費に3315万5000円増額とのことだが、救急車両の購入時期は走行距離によるのか。また、救急車は現在消防署に何台あって、どういうスパンで変えているのか。

A 現在、救急車の台数は4台で、本署に2台、秋山出張所に1台、桐原出張所に1台あります。救急車については、12年

当局より提出された4議案について慎重に審査した結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、委員から大規模災害時の市の対応についての事例を調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査として、文教厚生常任委員会と合同で調査することとしました。

所管事務調査

審査終了後、上野原駅南口昇降施設棟外建設工事の進捗状況を調査しました。



委員長	田中英明
副委員長	鷹取偉一
委員	白鳥純雄
	川島秀夫
	杉本文文
	杉本友栄
	岡部幸喜
	尾形重寅

常任委員会の審査
文教厚生

ごみ問題は急務！
協議会の設立を検討

6月14日、文教厚生常任委員会を開催し、付託された6議案の審査を行いました。

主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。



pick up!

議案第67号 平成29年度上野原市一般会計補正予算(第2号)

ごみ焼却施設のトラブルや大規模災害時の被害廃棄物処理対策として、一般廃棄物処理の一部を県外で処理するための運搬・処理業務委託料に2630万9000円増額補正。

主な意見

■ ごみ減量化に向け、協議会を立ち上げることだが、人件費をかけないでできる方策を視野に入れて、検討するべきだ。

上野原中学校の大規模改修調査業務委託料に200万円を増額補正。

主な意見

上野原中学校体育館の音響が悪く聞きとれないため、大規模改修調査業務に体育館の調査を入れる必要がある。

主な質疑・答弁

Q 空家等対策協議会が設置されるが、空家バンクを担当している特命JJU担当との関連はどうなっているのか。

A 協議会においては、特命JJU担当には補佐役として入ってもらい、話し合いに加わる事になっています。

Q 帝京科学大学との連携事業の実施に伴い旧桜井小学校の修繕を行うが、どの範囲まで使用するのか。

A 修繕は1階から3階までの水道が使えるように給水管の修繕をするもので、連携事業では校舎全体を使用します。

6議案の審査結果

当局より提出された6議案について慎重に審査した結果、全て全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、議案第67号上野原市一般会計補正予算第2号の中で「一般廃棄物処理運搬・処分業務」については、今後施設のトラブルや災害廃棄物処理の対策としての取り組みが急務とされることから、閉会中の継続調査として委託先の施設の状態について、総務産業常任委員会と合同で調査することとしました。

委員長	長田喜巳夫
副委員長	小俣 修
委員	遠藤美智子
	川田好博
	久嶋成美
	東山洋昭
	山口好昭
	尾形幸召

議会だより
50号
を迎えました



市議会議長
尾形 幸召

平成17年2月の市制施行以来、上野原市議会だよりも50号の記念を迎えました。先人の皆様方から現在まで、定例会ごとに歴代編集委員のご努力に感謝します。

議会だよりは、議会での議案審議の状況はもちろん、市民の声を取り入れ、市民との親近感づくりに邁進してきました。また、写真を多く配置したり、文字の大きさ、読みやすさなど工夫してきました。まだまだ未成熟でありませんが、市民に愛読される身近な議会だよりを目指します。

高校生や託児サービスを活用したお母さん方の傍聴など、市民目線での議会改革にも積極的に取り組んでおります。

今後とも市民の皆様には一層のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

上野原市議会のあゆみ

- 平成17年2月13日
 - 上野原市誕生、市議会の発足
 - 議員定数は26名（在任特別により34名でスタート）
 - 常任委員会は4編成（総務・厚生・経済・建設）
- 平成17年4月
 - 市議会だより創刊号発行（16頁）
- 平成17年6月
 - 議員定数検討特別委員会設置
 - 病院建設検討特別委員会設置
- 平成18年6月
 - 情報通信基盤整備事業特別委員会設置
- 平成19年2月
 - 議員定数を6名減の20名へ
 - 常任委員会は3編成へ（総務・文教厚生・建設経済）
- 平成19年3月
 - 病院問題検討特別委員会設置
- 平成20年12月
 - 市議会録画中継配信スタート（UBC・上野原テレビ共和国）
- 平成21年3月
 - 議員定数検討特別委員会設置
 - 市教育委員会委員及び監査委員の審査に関する特別委員会設置
- 平成21年8月
 - 情報通信基盤整備事業検証特別委員会設置
- 平成21年12月
 - 病院建設促進特別委員会設置
 - 資格審査特別委員会設置
- 平成23年2月
 - 議員定数を2名減の18名へ
- 平成23年10月
 - 定例会議決結果個人賛否の公表へ
- 平成24年4月
 - 年間会期日程の公開を開始
- 平成24年9月
 - 議会だより編集委員会が常任委員会となる
- 平成25年4月
 - 議長交際費の公開を開始
- 平成25年6月
 - 新田字狐原土地問題調査特別委員会設置
- 平成26年6月
 - 市議会議員政治倫理条例を制定
- 平成26年7月
 - 災害発生時の対応要領を制定
- 平成27年2月
 - 議員全員協議会を毎月開催へ
 - 議員定数を2名減の16名へ
 - 常任委員会は3編成へ（総務産業・文教厚生・議会だより）
- 平成28年6月
 - 初めて高校生が議会を傍聴
- 平成29年3月
 - 一般質問傍聴者託児サービス開始
 - 一般質問席の設置
- 平成29年5月
 - 議会だより、20頁に増刷（5月発行号と11月発行号）
- 平成29年6月
 - 議会活性化検討特別委員会設置



第48号



第42号



第30号



創刊号

表紙も変わったね



議員表彰

この度、全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より、次の方々が表彰されました。

■山梨県市議会議長会表彰（継続 15 年） （町村議期間は 1 / 3 とし て 換 算）



岡部幸喜議員



尾形重寅議員

■全国市議会議長会表彰（継続 10 年） ■山梨県市議会議長会表彰（継続 10 年）



田中英明議員



山口好昭議員



長田喜巳夫議員

■全国市議会議長会感謝状（地方財政委員会委員） ■山梨県市議会議長会感謝状（市議会議長）



鷹取偉一前議長

■山梨県市議会議長会感謝状（市議会副議長）



長田喜巳夫前副議長

上野原高校生が議会傍聴

市の課題を身近に感じる

6月19日の一般質問に、上野原高校3年生の生徒16名が傍聴に訪れました。

上野原市の国民健康保険制度や学童保育、農林業の振興等についての質問や答弁を聞き、真剣にメモを取る様子が伺えました。



普段なかなか見ること
の出来ない貴重な様子を
見ることができて良かった
です。実際に話し合い
の様子を見たことで関心
が高まったと思います。
今回話し合っていたこ
とは、少なからず私たち
に関わっていることだと
思うので、どんなふう
に決められているのか間近
で見ることができて良
かったと感じました。
発言者の人も今の状
況や資料、自分の考えなど
踏まえて意見していたの
でわかりやすかったです
し、自分の意見を堂々と
言える点は私にないもの
なので、身につけたいと
思いました。



上野原高校3年
加藤 祐実さん

上野原産の野菜に魅せられて

私は、上野原生まれの上野原育ちですが、会社員生活が長く、会社を退職するまで、農業の経験は在りません。退職後に本格的に農業を始めてから、農業の楽しさ、大変さを知る事になりました。始めて上野原の野菜の美味しいのに気付きました。

幸か不幸か、家は昔から農家で土地も道具も有り、何の抵抗もなく始める事になりますが、知識も経験もなく手探りで始め収入を得る事は考えられませんでした。しかし、そんな私は多くの先輩からノウハウを頂き、支えていただいたおかげで、農業を業（なりわい）と言える様になりました。

畑の手入れをして種を播き、緑の綺麗な新芽が出ると、「命」を感じ感動します。農業は自分（怠け心）と天候、虫、病気等の戦いで、お客様が満足する野菜を生産・収穫し、お客様に購入して頂いて、初めて収入を得ることができます。品質の良い物が生産・供給できるようになり、それに伴ってリピーターが増えていくのが楽しみになっています。

中央道上りの談合坂サービスエリア内にある「やさい村」には矢坪公園前の駐車場から一般の方も入る事ができます。多くの生産者が多様な野菜、花・玉子等を出荷しています。是非おいで下さい。

市内には多くの直売所があり上野原産の新鮮野菜が購入出来ます。是非地産地消で上野原に良い循環が生まれる様にご協力ください。

明日からまた美味しい野菜作り頑張ろう。



桑原 寛さん
(上野原地区)

9 月定例会予定

一般質問傍聴者託児サービスを開始

一般質問を傍聴する際、満1歳以上～就学前のお子さんをお預かりする託児サービスを開始しました。

ご希望の場合は、傍聴希望日の一週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

なお、通常の傍聴の際は予約の必要はありません。

当日、3階の議会事務局受付までお越しください。



日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (初日)	議案調査	総務産業 常任委員会	議案調査	
10	11	12	13	14	15	16
	文教厚生 常任委員会	議案調査	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日
		決算特別 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会 (総括)	議案調査	
24	25	26	27	28	29	30
	議案調査	議案調査	本会議 (最終日)			

編集後記

「議会だより」も50号を迎えました。12年の月日は長いと思うか、一瞬と考えるか、人それぞれです。市制に移行した2年間は合併による在任特例として33名（欠員1名）で出発しました。議員定数も何度かの改正で16名になりました。

議会は市民の思いを行政に伝える大切な役割を持っています。市民の声が確かに伝わっているかどうか、絶えず検証が求められています。「議会だより」も大切な役割の一端を担っていますが、今、読みやすい紙面を作るために努力をしています。市民の皆さんにはどのように映っているのか、気になるところです。（川田）

議会だより編集常任委員会
委員長 東山 洋昭
副委員長 川田 好博
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子
委員 久嶋 成美
委員 川島 秀夫

